



集会前日準備！そして韓国視察団が到着

集会前日準備作業

前日準備のため、午後から集會会場に二十名ほどの現地・全国世話人らが集まりました。約三百名の対面参加者を迎えるため、配布資料の綴じ込み、袋詰め作業を行いました。十数名が列を成し、長机二つ分、ずらりと並べられた資料を一部ずつ取り進め、袋に入れ、再び列に戻っての繰り返し。同時に、交流会会場の準備にも取組みました。脇目もふらず、目の前の作業に皆で一所懸命になつて取組んだ甲斐あつて、予定通りに作業を終えることができました。▼最後に、メイン会場に横断幕を掲げて、準備作業は完了。横断幕の前にして記念撮影「ハイ！チーズ」。いよいよ対面での全国集會が明日からスタートします。初参加の私にとつては、どんな集會で、どんな人たちと出會えるのか、ドキドキワクワクです♪



韓国視察団の来日

十四名の韓国視察団は、岸和田市にある「滝の湯」にて昼食と温泉を楽しんだ後、「だんじり会館」に向かいました。ここでは、和歌山大学の吉村先生と岸和田で長い間だんじりを担ってきた濱永さんが韓国の方々に説明をしてくれました。お話の中では、会館にある三つのだんじりの特徴や違いを熱く語られました。▼だんじりの踊りや鳴り物を体験できるブースでは、実際に韓国の方々も踊ったり、鳴り物を鳴らしたりしました。韓国語で「面白かったですか？」と聞くと、「面白かったです！」と答えてくれました。▼だんじり会館を後にしてから、地域で練習しているだんじりの様子を見に行きました。韓国の方々の中には、「どれくらいの間練習するのか」「どうやって、だんじりに参加する人を集めているのか」など気になる点は、第16分科会に持ち越されました。▼韓国視察団の方々は、地域の伝統を子どもたちが遊びながら自然と学んでいく地域学習の様子に関心を持って、見ている様子を伺うことができました。

(輪玉芳野)

その夜は韓国の皆さんと「だんない亭」にて懇親会。通訳を介して自己紹介をして語りあいました。参加者からは「国も制度も異なるがそれぞれの実践を語り合うことで、新たな発見があった」などの感想があり、ラストは濱永さんの「泉州伊勢音頭」で締められました

(山田龍太郎)



速報後記：集会広報班のメンバー募集中です。希望者は現地世話人会事務局まで。現在のメンバー：佐藤、玉置、吉水、輪玉、水本、舟瀬、井上、山田（班長）

第62回 社会教育研究全国集会

関西集会



⑫ 公民館分科会

オンラインだから参加が出来る方がいることに鑑みて分科会をオンラインと対面の二日間設定。八月二十日のオンライン開催には二十五名の参加があり、「都合で現地集会に参加が出来ない」「他の分科会にも参加してみたかった」「地元公民館が無くなる危機にある」と大変興味深く参加された方がいました。▼昨年に引き続き「ゆたかな公民館事業」論をテーマに、三名が登壇した。▼細山俊男さんの基調講演「住民と職員と協同の公民館実践のすすめ」、岡山市より「富山ESD じいじいカフェ」、貝塚市より「しゃべり場★公民館」の報告と各事例報告の深堀コメントから、「ともにつくる」**営みが公民館の本来もつ役割や学びの機会を創り出す**ことの重要性

を再認識しました。▼グループ討議での30分は短い時間でしたが、**学びを深め合う時間**となり、議論は8月27日の対面開催に引き継がれます。(木村恵美子)

④ 地域福祉分科会

八月二十日(日)午後一時半より、「地域福祉分科会」がオンラインで実施され、十四名が参加し、活発な意見交流が行われた。最初に工藤千佳良さん(赤羽文化センター)から、「自身の経験から地域福祉に関わる「つながり」を語っていただき、辻合悠さんからは、神戸市灘区での「よる・あーち」の活動を通して地域の障がい者と関わりをもつ経験や活動の「しかけ」を皆で創っていく魅力をお話しいただいた。▼実践を継続していくことの難しさ、孤立している人・困りごとを抱えている人へどのように働きかけていけるのかなど、人と人とのつながりを広げ、深めていくための課題が、市民や専門家など様々な立場の参加者同士で共有され、地域福祉と社会教育の「つながり」会となりました。(井上)

博物館分科会は八月二十日の対面開催、九月十九日のオンライン開催の二日間。一日目は和歌山県立近代美術館で実施し、二十名以上の参加がありました。▼和歌山県立近代美術館の奥村副館長から「**社会教育と学校教育の連携**」、和歌山県立近代美術館の藤木さんから郷土資料室の**学芸員との継続的学習活動**が、アドベンチャーワールドの吉峰さんからはSDGs等の「**社会課題と多様な動物をつなぐ教育プログラム**」の可能性と地域の教育機関との連携を通して、紹介され、紀美野町立みさと天文台の山内台長からは、「みさと天文台」令和の大改修の裏話、**逆風から順風へのストーリー**が語られました。▼昼からは、ワークショップでの美術鑑賞をしてからグループ討議を行いました。▼多様な**博物館活動が交流することで見えてくる各々の魅力と課題が明確になる**会となりました。二日目は、博物館法改正がテーマです。(山田)

⑭ 博物館分科会

博物館分科会は八月二十日の対面開催、九月十九日のオンライン開催の二日間。一日目は和歌山県立近代美術館で実施し、二十名以上の参加がありました。▼和歌山県立近代美術館の奥村副館長から「**社会教育と学校教育の連携**」、和歌山県立近代美術館の藤木さんから郷土資料室の**学芸員との継続的学習活動**が、アドベンチャーワールドの吉峰さんからはSDGs等の「**社会課題と多様な動物をつなぐ教育プログラム**」の可能性と地域の教育機関との連携を通して、紹介され、紀美野町立みさと天文台の山内台長からは、「みさと天文台」令和の大改修の裏話、**逆風から順風へのストーリー**が語られました。▼昼からは、ワークショップでの美術鑑賞をしてからグループ討議を行いました。▼多様な**博物館活動が交流することで見えてくる各々の魅力と課題が明確になる**会となりました。二日目は、博物館法改正がテーマです。(山田)

